

# 大風便り 第195号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和4年8月25日発行  
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号  
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860  
IP: 050-5801-1140  
開館時間: 9時~17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日  
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、ご家族でお越し下さい

## 夏休み工作教室 親子風作り教室~カブトムシの風を作ろう~



7月31日(日) 午前の様子



7月31日(日) 午後の様子



8月21日(日) 午前の様子



8月21日(日) 午後の様子



東近江大風会館では、7月31日(日)と8月21日(日)に毎年恒例の「親子風作り教室~カブトムシの風を作ろう」を開催しました。当初2回教室を実施する予定でしたが、参加の応募者が多かったため、コロナウイルス対策(小人数で換気、消毒の徹底)をしながらも、少しでも多くの人に参加できるように、教室を2倍にして4回実施しました。抽選で外れた人ごめんなさい!



カブトムシの風は、縦85センチ、横55センチの大きさで、初めに子どもたちが自分の好きな色を塗り、乾かした後に骨組をつけます。竹にボンドをつけカブトムシの形をした和紙に貼る作業と糸でくる作業は難しいので、親子で協力しながら取り付けします。今年も茶色だけでなく、ピンク・紫・青・黄色の風や虹色に塗った風などオリジナリティゆたかな風が出来上がりました。

親子の共同作業による風作りはとても微笑ましいものでした。風が完成した時のお子様の得意げな笑顔はとても印象的でした。

風揚げは、ソーシャルディスタンスを保ちながら、屋外で遊べますので、たくさん揚げて遊んでください。



教室の様子



好きな色を選びます



色付け



色付け



色付け



色付け



色付け



乾かします。



竹にボンドを塗ります。



竹を取り付け付けます。



竹と竹が重なっているところをくります。



風をそらす糸をくります。あげ糸を取り付け完成しました。



## ＝夏休み工作教室「コマ作り」「けん玉作り」＝



古川

皆さんこんにちは。8月もあっという間に終わってしまいますね。夏休み・お盆休みはいかがお過ごしでしたか。昨年に比べれば、遠くへお出かけされた方も多かったかもしれませんね。大風会館へもたくさんのお家族が来館いただき、大変にぎわっていました。大風会館は小さな博物館ですが、皆さんの楽しい思い出の一部になればうれしいです。



CDコマ作り



けん玉作り

7月30日土曜日、夏休み工作教室の「コマ作り」と「けん玉作り」を開催しました。「カブトムシの凧作り」、「バランスとんぼ作り」に続く第3弾と第4弾。午前の「コマ作り」はブンブンコマ・CDを使ったコマ・フィルムケースを使ったコマの3種類を作りました。ブンブンコマは、回すところからスタートなのですが、皆さん（大人も含めて）なかなかうまく回せません。職員にコツを教わりながら少しずつ上手く回せるようになりました。CDを使ったコマは、色々な柄が描かれた紙をCDの上に乗せて回すと、絵柄は黒いのに違う色が現れたり、絵柄が動いたりして不思議な世界を体験しました。フィルムケースを使ったコマは装飾の仕方によって面白い形が現れるようになっていて、このコマも回し方にコツがあり苦戦していました。製作の後には、ちょっと変わったコマで遊ぶ時間があり、普段見たことのないコマを回して楽しみました。コマが上手く回せたときには、とても良い笑顔を見せてくれていましたよ。

午後からは「けん玉作り」がありました。このけん玉は普通のけん玉の形とはちょっと違って、平たい板（小さいカッティングボード）に5種類の穴があけられていて、そこへ玉を通したり乗せたりするものです。あらかじめ穴は開けてあるので、作り方は簡単なのですが、実際に玉を穴に通したり、乗せたりするのが意外に難しく、製作時間より時間がかかっているようでした。その他にも、珍しいけん玉で遊ぶ時間がありとても大きいけん玉や竹でできたけん玉などたくさん体験して楽しみました。

2つの工作教室でのアンケートでは、「とても楽しめました」「もっといろいろなものを作ってみたい」「難しかったけど、出来たときとても嬉しかった」など、喜びの声をいただきました。

## ＝夏休み工作教室「ペットボトルでボルト&ナット」＝



西浦

連日の猛暑。夏真っ盛りの今日この頃、みなさんどう過ごされていますか。8月6日（日）に行われた工作教室の様子をちょっとご紹介させていただきます。この工作教室は凧作りやコマ作りとは少しちがってました。まず最初、参加者に配られたのは、ボルトとナットが取り付けられた棒が入っているペットボトルです。棒の先にボルトとナットがついていて、簡単には抜くことができません。みんな、棒を持ってペットボトルをぐるぐる回したり、たたいたり。。。そうこうするうちに1人、2人とボルトとナットを外していきました。次は、外したボルトとナットを元に戻します。これまた、みんなガチャガチャ、トントン。外すのは偶然にも簡単にできた子どもたちもボルトを棒の穴にさして、ナットを締めていくという至難の業に大奮闘。ここで種明かしはできませんが、ボルトとナットをよく観察し、外す・はめるの原理を考えることと集中力がポイントです。イライラして投げ出しはいいません。こうして棒にボルトとナットが取り付けられて元通りになったペットボトルに子供たちの好きなシールや切り抜いた色紙を貼り付けて完成です。物作りはただ切ったり貼ったりするだけではなく、工夫を凝らしたり考えたりすることが大切です。凧作りも高く揚がるために色々工夫したりもしますね。道具を使って、竹を削ったり紙を貼ったり、そして頭を使って考えたり。これが夏休み工作教室の醍醐味です。少しでもみんなが成長できる夏休みになればうれしいです。



## ＝～聖徳太子～こども遊彩画展＝

開催期間：9月29日（木）～10月23日（日）

期間中の休館日 水曜日、10月11日（火）

入館料 一般 300円 小中学生 150円



馬場

今回の展示会は、日本画家垣見真由美さんが日本画と絵手紙から生まれた遊彩画で東近江市内の聖徳太子ゆかりの社寺など（安楽寺、善勝寺、石馬寺、善住寺、花沢のハナノキ、百済寺、藤切神社、願成寺、石塔寺、御沢神社、瓦屋禅寺、市神社社）を紹介します。



～聖徳太子～  
こども遊彩画展

知  
た  
り  
た  
り  
と  
こ  
も  
不  
思  
議  
歴  
史  
文  
化

令和4年  
9月29日（木）～10月23日（日）

垣見真由美  
1960年京都市生まれ、東近江市在住 日本画家  
遊彩画美術協会 会員  
東近江の芸術を愛する会 会員  
京都日本画研究会 会員

日本画家垣見真由美さんが日本画と絵手紙から生まれた遊彩画で東近江市内の聖徳太子ゆかりの社寺を紹介します。

## ＝「Sky fishing 目に見えない何かを感じて

## ／アートカイトの魅力」＝

びわ湖・アーティスト・みんぐる2022『ガチャ・コン音楽祭 Vol.2』を作るメンバーのワークショップ「Sky fishing - 目に見えない何かを感じて - /アートカイトの魅力」が東近江大風会館で行われました。大風会館の鑑賞を行い、そのあとニシジマ・アツシ氏（サウンド・アーティスト、現代美術家）が凧に魅せられたきっかけからアートカイト（芸術凧）について話をされました。アートカイトは1988年に、日本の各地の伝統凧と現代美術の融合によって生まれたユニークな展示会です。



## ＝2022年9月の予定＝

8日（木）～13日（火）

京都ノートルダム女子大学 インターンシップ 1名

8日（木） 石部南小学校 2年生 見学と凧作り体験

9日（金）から 「アル・プラザ八日市」 20畳大風展示

10日（土）、11日（日） 「アル・プラザ八日市」 歩行凧作り

18日（日） 家族ふれあいサンデー

「毎月第3日曜日は東近江市民で、高校生以下の子どもを含む親子または家族で、「ふれあいカード」を提示いただくと東近江大風会館が無料となります。

詳しくは、東近江市のホームページをご覧ください。↓↓↓↓

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000014291.html>

29日（木）～10月23日（日）

聖徳太子～こども遊彩画展～

30日（木） 水戸小学校 1年生 見学（雨天：凧作り体験）

9月休館日：9/7・9/14・9/20・9/21・9/27・9/28